

## ..... 編集後記 .....

◆ 今月号は特集「ジオパーク」の原稿11編とその他のシリーズものの原稿1編です。特集「ジオパーク」とは、ユネスコと国際地質科学連合が推進している活動で、地質遺産を保存し、地球科学の研究・教育・普及に活かすとともに、それを通して地域の持続可能な発展に貢献しようとするものです。

◆ 特集では、まず日本地質学会ジオパーク設立推進委員長の佃 栄吉さんが、特集巻頭言として、日本におけるジオパーク運動の取り組み状況を報告しています。次いで岩松 暉さんは地質学の重要性と我が国における地質学の危機的な状況について説明した後、それを打開するためにジオパークが必要であると力説しています。渡辺真人さんは昨秋、北アイルランドで開催された第2回ユネスコ国際ジオパーク会議の様子を報告しています。ジオパーク運動はヨーロッパと中国で、先進的に取り組まれているとのこと。 (故)大矢 暁さんはオーストリアKamptalジオパークを訪問して、そこは地質だけに拘わらないカルチャー・パークというコンセプトがあると述べています。一方、この1ヶ月前に訪問した中国の雲台山地質公園は、テーマパークのようであると述べています。さらに、日本のジオパークは日本独自のものを目指せばよいとも述べています。口絵も併せてご覧下さい。ユネスコのジオパーク事務局のMargarete PatzakさんとRobert Missottenさんは、ジオパーク活動と世界ジオパークネットワークへの加入方法について説明しています。ジオパークは、持続的経済発展の核として働く可能性を追求することが大原則であると述べています。欧州ジオパークネットワークのコーディネーターであるNickolas Zourosさんは、欧州ジオパークネットワークの設立経緯とネットワーク活動について具体的に報告しています。前報告とともに、口絵をご参照下さい。中国地質科学院のZhao TingさんとZhao Xunさんは、中国におけるジオパークの整備と意義について報告しています。中国のジオパークのうち、85箇所の地域について詳細な特徴を報告するとともに、ジオパーク設立がもたらした国内社会・経済への影響について報告しています。口絵も併せてご覧下さい。元ユネスコ地球科学部長のWolfgang Ederさんとオーストリア地質調査所Werner R. Janoschekさんは、国際惑星地球年の科学計画の詳細を紹介するとともに、ジオパークとの関連を説明しています。渡辺真人さんは、世界ジオパークネットワークに加盟するための手続きと要件について説明しています。平野勇さんは、多くの図表を用いて、ジオパークのイメージ、素材、メニュー、組織、事業の流れなどを詳しく検討し、解説しています。最後にWolfgang Ederさんは、日本におけるジオパーク推進に向けて、7項目を提案しています。

◆ 小松原 琢さんは、シリーズ地質調査のパートナー(7)としてアイスクリーム匙を取り上げています。木製のへらではなく、業務用のステンレス製の匙です。フィールド・ジオロジストならではのアイデアです。

◆ いよいよ本格的な夏を迎えます。夏休みは子ども達にとって自然体験のできる貴重な機会です。是非、家族や仲間達と、自分達のジオパーク探しに出かけてみてはいかがでしょうか。情報化社会の中であふれる知識を、真に生きた知識にするためには、自然体験は極めて重要な役割を担っています。自然環境の変化の中で、人類や生物がどのようにサバイバルしてきたかを考える良い機会になろうかと思えます。

(玉生志郎)

### 地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：藤原 治・光畑裕司・高木哲一・

七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第635号	2007年	7月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
	2007年7月1日 発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年 (IYPE) に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2007 Geological Survey of Japan